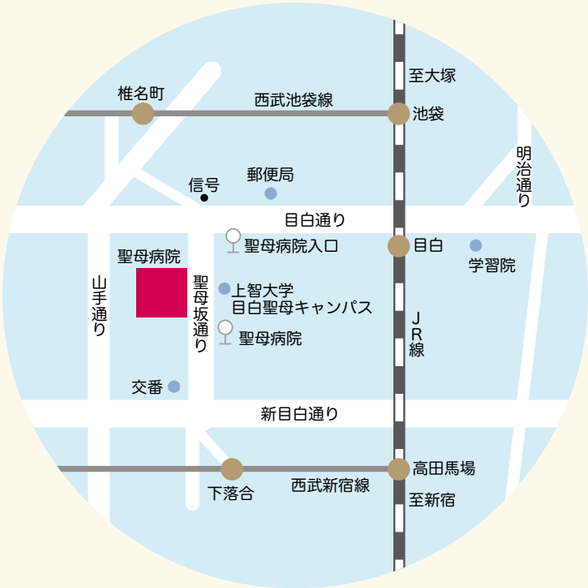



●JR 目白駅より都バス 池 65 白 61 練馬方面行「聖母病院入口」下車（進行方向信号を左折）
●新宿駅より関東バス丸山営業所 宿 02 行「聖母病院」下車
●西武新宿線「下落合駅」下車、徒歩 7 分
●西武池袋線「椎名町駅」下車、徒歩 10 分
●車でお越しの場合：病院駐車場完備（有料）

社会福祉法人　聖母会
聖母病院
公益財団法人 日本医療機能評価機構認定病院

〒161-8521　東京都新宿区中落合 2-5-1
TEL:03-3951-1111（代表）
https://www.seibokai.or.jp

患者総合支援部
TEL:03-3951-1119（直通）

*International Catholic Hospital*

# 診療のご案内

## *2025-2026*

社会福祉法人　聖母会
# 聖母病院

聖母病院は
日本医療機能評価機構の
認定医療機関です

聖母病院は
「産科医療保障制度」
加入機関です

# 病院長挨拶

このたび「診療の案内 2025-2026」が完成いたしましたので、ここにお届けいたします。当院の連携施設（介護施設含む）は、昨年度に新たに 11 施設が加わり、2025 年 4 月時点で計 351 施設となりました。皆さまの日頃からのご支援・ご協力に、改めて心より御礼申し上げます。

当院の責務は、“ 母子および高齢者を中心とした、安心していただける地域医療の実践 ” です。過去 5 年間にわたり、高齢者医療においては、緩和ケア、訪問診療、がんリハビリ、摂食嚥下支援、褥瘡ケアを強化し、大腸がんに対する腹腔鏡手術、人工膝関節・人工股関節手術、白内障手術を推進してまいりました。術後には、患者さんの全身状態やパフォーマンスステータス、ご希望、住環境を踏まえたリハビリテーションを最優先としております。一方、母子医療では、無痛分娩、産後ケア、メンタルヘルスケア体制の充実に取り組み、子どもの総合医としての小児診療の拡充も進めました。皮膚科では乾癬や掌蹠膿疱症といった特殊疾患に加え、乳児期からの「あざ」治療にも積極的に取り組み、健診部ではドック受診者へのオプション検査を充実させました。

本年度は、これまでの取り組みをさらに発展させるとともに、「医療連携」と「救急医療」により一層注力します。「医療連携」においては、地域のクリニックだけでなく急性期基幹病院との連携を深めます。また、「救急医療」ではより円滑な院内診療体制を確立します。

開院以来、当院は皆さまに支えられながら歩んでまいりました。2024 年 2 月には、5 年ぶりに「地域連携の会」を開催し、約 100 名の医療関係者が集いました。“ 顔の見えるつながり ” の意義を改めて実感するとともに、今後の連携強化に向けた新たな一歩となりました。

これからも、「高齢者・母子医療を軸とした、地域から信頼され、愛される病院」を目指し、全力で取り組んでまいります。引き続き、どうぞよろしくお願い申し上げます。

聖母病院 病院長　宮越　敬

聖母病院は博愛と奉仕、科学的治療と精神的慰安を病める人々に与えることを目的として、1931 年に創立されました。当院の基本理念は「愛をもって病める人を癒されたキリストにならい、国籍、信仰、貧富を問わず、心の通う医療を提供して病める人々の身体的、精神的、社会的、霊的ニーズをみたす」ことです。

この理念は、医学的な知識と技術を利用して病気を治療するのみならず、病を抱える人の心理や社会的側面にも配慮しながら医療を提供することの重要性を強調するものです。また、医学が進歩し様々な疾患の治療が飛躍的に進歩した現在でも、治療が困難な病気や長期療養が必要な病気が依然として数多いことも事実です。

当院では、二つの塔をもつタイル張りの建物、絨毯敷きの広い廊下、季節の花々の咲く広い庭、荘厳な大聖堂などが相まって、和やかな雰囲気が醸し出されております。私たちは、患者さんの心と身体に寄り添う包括的な医療を目指し、地域の皆様に安心を提供すべく尽力してまいります。

職員一同

# Contents




病院長挨拶
職員一同

産婦人科 ―― 2
内　　科 ―― 4
外　　科 ―― 6
小 児 科 ―― 8
総合診療科 ―― 10
緩和ケア ―― 11
乳腺外科 ―― 12
皮 膚 科 ―― 13
整形外科 ―― 14
耳鼻咽喉科 ―― 15
眼　　科 ―― 16
放射線科・画像検査科 ―― 17
麻 酔 科 ―― 18
精 神 科 ―― 18
泌尿器科 ―― 19
病理診断科 ―― 19
リハビリテーション科 ―― 20

# 産婦人科

産婦人科

産婦人科 部長
**増澤　利秀**

## 当科の紹介

24 時間･365 日対応の無痛分娩に加え、助産師外来、オンラインマタニティークラス、母乳外来や産後ケア入院も高い評価をいただいております。産科だけでなく、地域医療の担い手として良性疾患を中心に婦人科診療（内視鏡下・腟式手術含む）にも注力しております。また、外国籍受診者も多く、英語・フランス語はじめ多言語（中国語･スペイン語･ミャンマー語など）に対応可能です。聖母病院の主軸として､常勤医師７名､非常勤医師２名､そして約 70 名の看護師･助産師とともに女性のトータルケアを目指します。

## 診療スタッフ 一覧

| 医師名 | 役職 | 専門領域／資格など<br>医師より一言 |
|---|---|---|
| 宮越　　敬 | 病院長 | **産婦人科一般、周産期学、超音波医学／**<br>日本産科婦人科学会認定産婦人科専門医・指導医、日本周産期・新生児医学認定周産期専門医、日本超音波医学会認定超音波専門医・指導医、厚生労働省認定臨床研修指導医、東京都医師会母体保護法指定医、新生児蘇生法「一次コース」インストラクター、慶應義塾大学医学部講師（非常勤）・客員教授（産婦人科学）<br>ぜひ聖母病院にお越しください。お産に対する不安を少しでも解消していただけるよう全力でサポートいたします。 |
| 増澤　利秀 | 産婦人科部長 | **周産期一般、周産期学、婦人科腫瘍、女性医学／**<br>日本産科婦人科学会認定産婦人科専門医・指導医、東京都医師会母体保護法指定医<br>慶應義塾大学医学部講師（非常勤）<br>元々は婦人科が専門でしたが、聖母病院赴任後は、産科がメインとなりました。<br>婦人科、産科を問わず、適切な診断と治療を心掛けて診療を行っています。 |
| 山内　　潤 | 副部長 | **産婦人科一般、周産期学、超音波医学／**<br>日本産科婦人科学会認定産婦人科専門医・指導医、東京都医師会母体保護法指定医<br>大学病院在籍中は産科（超音波診断）の研究室に籍を置いていました。現在は産婦人科一般診療をしています。 |
| 山内　美和 | 医　長 | **周産期一般、周産期学、婦人科腫瘍、女性医学／**<br>日本産科婦人科学会認定産婦人科専門医・指導医、東京都医師会母体保護法指定医<br>当院に勤務し、約 20 年。私自身、不妊治療、流産、切迫早産などの経験をしました。 妊娠・出産までの道のりは、全ての方が順調とは限りません。妊婦さんが最善の状態で赤ちゃんを迎えられるよう、サポートしたいと思っています。婦人科は患者さんの体への侵襲の少ない腹腔鏡手術に力を入れています。ぜひご紹介ください。 |
| 戸田　里実 | 医　長 | **産婦人科一般、周産期学、女性医学／**<br>日本産科婦人科学会認定産婦人科専門医、東京都医師会母体保護法指定医<br>丁寧な診療を心掛けています。お気軽にご紹介ください。 |
| 兼子　絢華 | 医　員 | **産婦人科全般、産婦人科専門医**<br>来院される患者様お一人お一人に寄り添った、最適な医療を提供できるよう努めてまいります。診療上の不安や疑問等ありましたら、些細なことでもご紹介ください。 |
| 清水　莉璃 | 医　員 | **産婦人科全般**<br>自分自身、婦人科疾患で緊急手術を受けた経験もあり、患者様の気持ちに寄り添った温かい診療を心掛けております。些細なことでもお気軽にご相談ください。 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 片岡　史夫 | 非常勤 | 産婦人科腫瘍 | 小野あすか | 非常勤 | 産婦人科一般、女性医学 |

## 診療内容・特色

### ◆産科

中等度までのハイリスク妊娠・分娩、他科疾患合併妊娠に対応しております。

1. 当院における妊婦健診

原則として担当医制とし、助産師と連携したきめ細やかな健診が特徴です（助産師外来含む）。

コロナ禍で集合形式のいわゆるマザークラスは中止となりましたが、妊娠出産に関するオンライン動画視聴に加え、「自然分娩」「無痛分娩」「母乳と育児の準備」「マタニティークラス（前期・後期）」といったタイトルで Zoom を用いた双方向性オンラインクラスを行っております。なお、外国籍妊婦さん向けには後期のマタニティークラスに相当する内容の英語版オンラインクラスを開催し、妊婦さんとのコミュニケーション促進に努めております。また、コロナ禍で集合形式のいわゆるマザークラスは中止になっていましたが、2024 年度よりマタニティ・ヨガクラスを再開しました。

2. セミオープン健診システム（かかりつけ医と連携した妊婦健診）

妊娠中期以降の一定期間、かかりつけ医で妊婦健診を受けていただくことも可能です。具体的には、診療情報提供書を持って妊娠初期に当院を受診いただき、健診･助産師面談･分娩予約を行います。以降は、かかりつけ医で健診を受け、妊娠 34 週頃から当院にて分娩に向けた診療を行います。なお、経過中に妊娠糖尿病・前置胎盤・妊娠高血圧症候群などを認める場合には、当院で妊娠管理を行います。

3. 里帰り分娩サポートシステム

かかりつけ医で妊婦健診を受け、帰省分娩を予定される方向けのシステムです。具体的には、妊娠初期に診療情報提供書を持って当院を受診しカルテを作成いただきます。以後、帰省までの間、かかりつけ医療機関が休診の際には当院で適宜対応いたします。

4. 無痛分娩（硬膜外麻酔分娩）

麻酔科医との連携のもと、希望者には硬膜外麻酔を用いた無痛分娩（24 時間、365 日対応）を提供しております（人数枠制限なし）。無痛分娩を希望される場合には事前申し込みのうえ、妊娠 34 ～ 36 週頃に必ず麻酔科医面談を受け、硬膜外麻酔の注意点などをご理解いただきます。

5. 産後ケア

新宿区・杉並区・中野区・豊島区・練馬区・板橋区・文京区と連携した産後ケア事業に参画しております。

6. 産後２週間健診・母乳外来

疲労や不安の強くなる産後２週間で母子の健康状態やメンタルヘルスの不調をチェックし、産科・小児科・精神科・地域と連携しながら産後のフォローを行っています。また、他院で出産された方も含め、助産師が授乳に関する相談（乳房マッサージ含む）をお受けいたします。また、乳腺炎に対しては必要に応じて当院の乳腺外科と連携します。

7. 出生前検査

当院では母体血清マーカー検査・羊水検査を実施しております。また、胎児発育・形態の精査が必要な場合、胎児診断外来で超音波検査を行います。

かかりつけ医療機関にて健診を受けておられる場合にも診療情報提供書を持参のうえ、これらの出生前検査をお受けいただけます。疾患が疑われる時には高次専門医療機関と円滑に連携します。なお、当外来では胎児染色体異常の早期診断を目的とした胎児ドックは行っておりません。

8. 分娩実績（2024 年）

総分娩数は 1,091 件（経腟分娩：826 件、帝王切開分娩：265 件）です。なお、無痛分娩の施行は総計 617 件で、この内 554 件が経腟分娩でした。

聖母病院トップページ (https://www.seibokai.or.jp) から「お産のページ」にアクセスのうえ､ぜひ当院の妊婦～分娩～産後の診療内容もご覧ください。

### ◆婦人科

子宮内膜症・子宮筋腫・卵巣嚢腫などの良性疾患が主体ですが、子宮頸部上皮内腫瘍、子宮頸癌初期や子宮体癌、卵巣癌などにも対応しております。

1. 腫瘍

良性腫瘍、悪性腫瘍（初期のみ）、子宮内膜症および子宮腺筋症など

- 病状の評価が困難な場合には腫瘍専門医による「腫瘍外来」（木曜日午後）にて精査を行います。必要に応じて専門施設にご紹介いたします。
- 頸部細胞診異常に対しては原則として初診時にコルポ診等・生検等を行います。治療を要する場合には、当院で子宮頸部円錐切除・蒸散術を実施します。

2. 生殖・内分泌

月経異常、排卵障害、卵巣機能不全、不妊症など

- 不妊症に対しては、一般的な原因検索に加え一般不妊治療（タイミング法・人工授精）の実施が可能です。
- かかりつけ医療機関からの子宮卵管造影検査・子宮鏡検査の実施依頼にも対応します。

3. 女性医学

- 子宮下垂・脱に対しては腟式手術も実施可能です。
- 更年期障害や骨粗鬆症には適宜、精神科や整形外科とも連携して対応いたします。

4. 婦人科手術実績（2024 年）

良性疾患（子宮筋腫、子宮内膜症、卵巣腫瘍など）、子宮頸部上皮内腫瘍

開腹術：29 件／腹腔鏡下下手術：51 件 / 腟式手術 101 件（子宮鏡下子宮内膜ポリープ切除術・粘膜下筋腫切除術、子宮頸部円錐切除術・子宮頸部蒸散術等）

# 内　科

内　科

副院長・内科 部長
**宮本　大介**

## 当科の紹介

当科では、医学の進歩に対応して、循環器、消化器、糖尿病、腎臓、呼吸、神経などの専門医を適切に擁し、質の高い医療を提供しています。一方、高齢化社会にあっては、介護など社会的課題が重要視されています。地域医療、先進医療と密接に連携するとともに、医療相談、生活指導を活用して、全人的医療がなされるよう心掛けています。また、生活習慣に関連する疾病の増加に鑑み、地域健診、二次健診、人間ドックなどを積極的に導入し、疾病予防と早期発見にも力を注いでいます。

## 診療スタッフ 一覧

| 医師名 | 役職 | 専門領域／資格など<br>医師より一言 |
|---|---|---|
| 宮本　大介 | 副院長<br>内科部長 | 呼吸器／呼吸器専門医、気管支鏡専門医、総合内科専門医<br>専門は呼吸器内科で喘息や慢性閉塞性肺疾患、慢性呼吸不全や呼吸器感染症を中心に診療しております。また高齢化の進行により、一人の患者さんが複数の疾患を持つことも多く、内科疾患全般にわたって適切な診療ができるように心がけております。 |
| 藤井　大輔 | 副部長 | 総合内科、循環器、緩和ケア／総合内科専門医<br>循環器内科を中心に、糖尿病や一般内科の診療を行っております。ほか、内科っぽくない診療科の受診をご案内できるよう努めてまいりますので、お気軽にご紹介ください。 |
| 伊藤　直人 | 医　長 | 循環器、高血圧<br>一般内科・循環器内科を中心に診療しています。患者さん・ご家族の医療に対する希望を正確に把握して、我々にどのような対応が可能かお伝えしているつもりです。 そして、ご相談のうえできるだけ適切で無理のない診療方針を選ぶように努力しています。 |
| 岡野　真弓 | 医　長 | 一般内科／総合内科専門医<br>一般内科の診療をしています。高齢でひとり暮らしの方、介護が必要となり療養生活の不安を感じておられる方が増えています。患者さんの必要なことやご希望を伺いながら安心していただけるよう、ともに考えて診療しております。 |
| 庫川　恵理 | 医　長 | 呼吸器／呼吸器専門医<br>一般内科と呼吸器内科診療を担当しています。患者さんにわかりやすく安心していただける診療を心掛けてまいります。よろしくお願い申し上げます。 |
| 澤原　　夢 | 医　員 | 糖尿病／内科専門医、糖尿病専門医<br>一般内科や糖尿病、妊娠糖尿病、甲状腺に関して担当いたしております。生活スタイルによって悩みは様々だと思いますので、ひとりひとりの生活スタイルにあった医療が提供できるように、患者様と一緒になって考えていけたらと思っております。よろしくお願い申し上げます。 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 市瀬　裕一 | 非常勤 | 呼吸器、感染症 | 稲垣　裕介 | 非常勤 | 循環器内科 |
| 濱松　永昌 | 非常勤 | 消化器内科 | 八尾　厚史 | 非常勤 | 循環器内科 |
| 井上ゆか子 | 非常勤 | 糖尿病、内分泌代謝 | 永岡茉莉奈 | 非常勤 | 神経内科 |
| 北濱真理子 | 非常勤 | リウマチ、膠原病 | 鈴森知沙季 | 非常勤 | 消化器内科 |
| 安藤　　稔 | 非常勤 | 腎臓内科 | 竹熊　勇登 | 非常勤 | 消化器内科 |
| 玉置　博之 | 非常勤 | 循環器内科 | 富澤　学之 | 非常勤 | 糖尿病、内分泌代謝 |
| 佐々木順子 | 非常勤 | 糖尿病、内分泌代謝 | 川﨑　麻紀 | 非常勤 | 糖尿病、内分泌代謝 |
| 渡邊　成美 | 非常勤 | 神経内科 | 芹川　直輝 | 非常勤 | 循環器内科 |
| 井田真規子 | 非常勤 | 腎臓内科 | | | |

## 診療内容・特色

### ◆呼吸器

3 人の専門医（2 名常勤、1 名非常勤）が呼吸器疾患全般にわたる診療を行っております。対象疾患は気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患、間質性肺疾患、呼吸器感染症、また睡眠時無呼吸症候群など多岐にわたります。当院で対応困難な疾患の場合は、周囲の大病院との連携を密にして適切に対処するようにしています。検査では CT を中心とした画像診断、気管支内視鏡、また睡眠時無呼吸症候群が疑われる例ではポリソムノグラフィーも行っております。集中治療室はありませんが、急性呼吸不全や慢性呼吸不全増悪例などは非侵襲的陽圧呼吸や挿管人工呼吸にも積極的に取り組んでおります。最新のエビデンスやガイドラインを参考にしつつ、様々な背景を持つ患者様ひとりひとりに対して、最善の治療をできるよう心がけております。

### ◆消化器

消化器科では、胃や腸の消化管疾患と肝臓、膵臓、胆嚢の疾患など広い範囲の診療をしています。代表的な疾患としては、胃潰瘍、慢性胃炎、逆流性食道炎、大腸ポリープ、感染性腸炎、ウィルス性肝炎、肝硬変、膵臓炎、胆石、胆嚢炎、胆嚢ポリープなどに加えて胃癌、大腸癌、肝臓癌などの悪性疾患があげられ、これら疾患の診断および治療を行っています。

消化器科では内視鏡検査も担当しています。胃および大腸内視鏡検査を年間約3,200件（胃：約2,600件、大腸：約 600 件）行っています。胃内視鏡検査では、全身麻酔薬や経鼻内視鏡を用いた苦痛の少ない検査も可能です。大腸内視鏡検査では、検査中に見つかった小さなポリープはその場で切除する日帰り手術も行っています。内視鏡を使った胃ろう造設術も行っています。胃ろう造設後の管理、カテーテルの交換や経管栄養の指導もしています。また、ヘリコバクター・ピロリ菌の診断から除菌治療、B 型肝炎やC 型肝炎の抗ウィルス療法などの専門治療も対応しています。

### ◆循環器

循環器部門で可能な検査は、心電図、ホルター心電図（長時間記録心電図）、心臓超音波検査、動脈硬化指標測定（CAVI）、大動脈造影 CT 検査、下肢動脈 MRI 検査（MRA）などです。

専門的な加療に密接に関わる検査については、循環器専門病院に依頼することが必要ですので、患者さまのご希望を勘案し適切な医療機関をご紹介するように努めております。

### ◆代謝・内分泌

主に糖尿病（1 型糖尿病、2 型糖尿病、妊娠糖尿病およびその他糖尿病）、脂質異常症、高血圧や甲状腺疾患等の治療にあたっています。糖尿病診療においては、血糖値をよくすることだけではなく、合併症の発症や進行を抑制できるよう、必要に応じて他科とも連携し、きめの細かい治療を心がけております。産科と連携し、妊娠糖尿病や甲状腺疾患合併妊娠の治療も積極的に行っています。

### ◆腎臓

蛋白尿の診断、慢性腎臓病、慢性腎不全保存期などの治療を行っています。

### ◆リウマチ性疾患外来

関節リウマチ、膠原病などのリウマチ性疾患の診療を行っております。

関節リウマチは、手足などの関節に痛み、腫れなどの症状を生じる原因不明の自己免疫疾患のひとつです。これらの症状により日常生活に支障を生じ、進行すると関節の破壊、変形をきたし、生活の質（Quality of life：QOL）の低下につながります。メトトレキサート（リウマトレックス）やその他の抗リウマチ薬による治療が基本ですが、必要に応じて鎮痛剤や短期間のステロイド投与も行います。また、より積極的な治療として、関節破壊を阻止することを目的に、生物学的製剤を使用した方が良い場合もあります。患者様それぞれに最適と思われる投薬方針をご提案、ご相談しながら、治療を行っていきます。

### ◆診療実績　2024 年

| | | | |
|---|---|---|---|
| 平均入院患者数 | 45 人 / 月 | 平均在院日数 | 19.1 日 |
| 平均外来患者数 | 3,098 人 / 日 | | |
| 内科での救急車受け入れ | 平均 37 件 / 月 | | |

# 外　科

外　科

副院長・外科 部長
**田中　敏明**

## 当科の紹介

消化器疾患に対する診療にあたっており、常勤医２名、非常勤医２名によるより細やかな診療体制をしいています。

外来は毎日午前の受付となっております。基本的には予約診療ですが、救急疾患に関しては随時対応いたしております。また、緊急手術についても、可能な限り対応しております。

## 診療スタッフ 一覧

| 医師名 | 役職 | 専門領域／資格など<br>医師より一言 |
|---|---|---|
| 田中　敏明 | 副院長<br>外科部長 | 腹部消化器外科、腹腔鏡手術（大腸癌）／<br>日本外科学会専門医・指導医、日本消化器外科学会専門医・指導医、日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医、日本内視鏡外科学会内視鏡外科技術認定医（消化器・一般外科 審査対象臓器：大腸）、Intuitive surgical 社による Certificate of da Vinci System training (da Vinci S/Xi)、日本ロボット外科学会　Robo-Doc Pilot　国内 B 級、日本消化管学会胃腸科専門医、日本消化器病学会消化器病専門医、日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医、上部消化管スクリーニング認定医、大腸内視鏡スクリーニング認定医、東京都難病指定医、厚生労働省臨床研修指導医、Infection Control Doctor<br>一般消化器外科、大腸肛門疾患や腹腔鏡手術を担当いたします。日々進歩する医療技術を取り入れて、患者さん個々人に最適な信頼される医療を提供してまいります。 |
| 井上　幸紀 | 医　長 | 一般外科／<br>日本外科学会外科専門医、東京都難病指定医、東京都身体障害者（小腸機能障害、直腸機能障害）指定医<br>外科の知識と技術をもとにして真摯に診療を行わせていただきます。<br>できる限り丁寧に親身に治療にあたらせていただきますのでお気軽にご紹介ください。 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 松延修一郎 | 非常勤 | 消化器一般外科<br>日本外科学会外科専門医 | 宮野　省三 | 非常勤 | 消化器一般外科 |

## 診療内容・特色

### ◆消化器外科

患者さんの状態に応じて、安全性と根治性（＝きちんと病気を治す）を担保しつつ、できるだけ体に負担の少ない治療を積極的に導入しています。その実現のために、消化器外科では、腹腔鏡での手術や消化器内視鏡（胃カメラ・大腸カメラ）での治療を積極的に行っています。

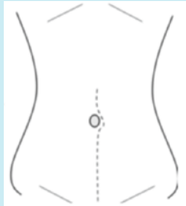
#### 手術治療について

—体への負担の少ない腹腔鏡手術を積極的に導入—

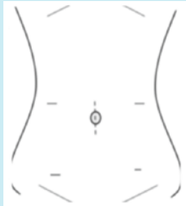
消化器一般外科疾患に対する手術を行える体制をとっております。可能な限り患者さんへの身体的精神的負担を少なくすることを目的として積極的に腹腔鏡による手術を行っています。

近年患者数が増加している大腸癌に対しては、腹腔鏡の専門医（内視鏡外科学会技術認定医）のもと、原則腹腔鏡で手術を行っています。腹腔鏡手術は、従来の開腹手術に比べて、創が小さいだけでなく、術後の回復が早く、術後の合併症も少ないことが明らかになっています。

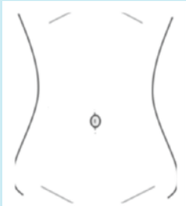
また、胆石症や急性虫垂炎に対する腹腔鏡手術では、従来の方法を進化させて、さらに臍からの一ヶ所の傷で行う、単孔式腹腔鏡下手術を導入しており、整容性（見た目）の改善に努めています。ヘルニアに対しても積極的に腹腔鏡での手術を行っており、従来の手術に比べて術後の痛みや合併症が減少しています。



従来の手術の創



腹腔鏡手術（大腸癌）



腹腔鏡手術
（胆石・虫垂炎）

#### 2024 年の主な手術実績

| | |
|---|---|
| 胃癌 | 3 件 |
| 大腸癌 | 14 件 |
| 胆石 | 23 件 |
| 虫垂炎 | 17 件 |
| ヘルニア | 21 件 |
| その他 | 15 件 |
| 合　計 | 93 件 |

#### 内視鏡治療（胃カメラ・大腸カメラなど）について

—ごく早期の癌は、胃カメラ・大腸カメラで切除を—

早期食道がんや早期胃がん・大腸癌の中でも粘膜にとどまるがんの多くは、食道切除や胃切除・大腸切除を行う必要がないことから、積極的に内視鏡での病変の切除を行っています（ESD や EMR）。外来通院や 1 泊入院で、治療を行うことができます。

また、胆石が総胆管に落下することが原因で起こる総胆管結石症に対しては、内視鏡的逆行性膵胆管造影（ERCP）を行い、結石を除去しています。

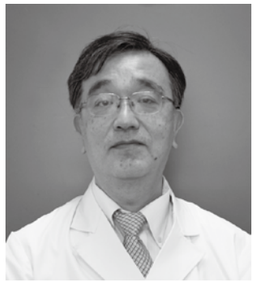
#### 化学療法（抗癌剤治療）について

一部の癌は発見時すでに進みすぎていて手術で治すことができないことがあります。その場合でも、抗癌剤治療により癌の進行を抑えることで、できるだけ長く日常生活を送ることを目指すことができます。また、聖母病院では緩和ケアチームと連携して診療を行うことで、がんの治療の疼痛や不安などをできるだけ軽減して治療に臨むための体制を整えています。

聖母病院の外科では抗癌剤治療の経験が豊富な医者が在籍しており、様々な消化器癌の患者さんの抗癌剤治療を行っています。

# 小　児　科

小　児　科



小児科 部長
**猪野　雅孝**

## 当科の紹介

当院小児科は、“子どもの総合医”として、病気の治療だけでなく、乳幼児健診や予防接種、子育て相談にも親身に対応しています。小児科全般の診療のほか、アレルギー外来、神経外来、心臓外来、新生児フォローアップ外来などの専門外来を設置しています。出生後の新生児の診療は小児科医と専任の看護スタッフが担当し、“母と子にやさしい医療”を心がけています。

## 診療スタッフ 一覧

| 医師名 | 役職 | 専門領域／資格など<br>医師より一言 |
|---|---|---|
| 猪野　雅孝 | 小児科<br>部長 | 小児科一般、新生児診療、小児保健、新生児フォローアップ外来／<br>日本小児科学会認定小児科専門医、新生児蘇生法（A コース）インストラクター、インフェクション・コントロール・ドクター、小児慢性特定疾病指定医、出生前コンサルト小児科医<br>“子どもの総合医”として、子どもたちの健やかな成長・発達を願い、病気の治療だけでなく、子育て相談にも親身に対応しています。主に新生児の診療と健診、予防接種、病院全体の感染対策を担当しています。 |
| 前田　由美 | 医　長 | 小児科一般、新生児診療、小児保健、アレルギー外来／日本小児科学会認定小児科専門医、日本小児神経学会認定小児神経専門医、小児慢性特定疾病指定医<br>一般外来診療をメインに、アレルギーや予防接種の外来を担当しております。わかりやすく説明することを心掛けております。 外来診療を通して、子どもたちとそのご家族のために育児を応援していきます。 |
| 山中　聡子 | 医　長 | 小児科一般、新生児診療、小児保健、新生児フォローアップ外来／日本小児科学会認定小児科専門医、新生児蘇生法（A コース）インストラクター、小児慢性特定疾病指定医<br>主に、新生児とその発育発達フォローアップ、健診を担当しています。お子さんとご家族が心身ともに健康で、日々笑顔ですごせるよう、お手伝いできればと思っています。 |
| 江﨑奈緒子 | 医　長 | 小児科一般、新生児診療、小児保健、アレルギー外来、予防接種外来／小児慢性特定疾病指定医<br>お子さんの健康・発達・ワクチン・育児など、お気軽にご相談ください。お父さん、お母さんにも安心していただけるような診療を心掛けています。 |
| 大塚　素子 | 医　長 | 小児科一般、新生児診療、小児保健、予防接種外来／日本小児科学会認定小児科専門医、新生児蘇生法（A コース）プロバイダー、PALS 小児二次救命処置法プロバイダー、小児慢性特定疾病指定医<br>一般外来、夜尿症外来を担当しています。夜尿でお困りの方、お気軽にご紹介ください。 |
| 岩丸　良子 | 医　長 | 小児科一般、新生児診療、小児保健、神経外来、予防接種外来／日本小児科学会認定小児科専門医、子どもの心相談医、PALS 小児二次救命処置法プロバイダー、小児慢性特定疾患指定医<br>お子さんとご家族が健やかに、笑顔で過ごすことができるよう、診療を通してお手伝いします。子どもの成長や発達について気になることがあれば気軽にお声がけください。 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 高橋　美希 | 非常勤 | 小児科一般、小児保健、<br>予防接種外来 | 衛藤　　薫 | 非常勤 | 神経外来 |
| 新貝千賀子 | 非常勤 | 小児科一般、予防接種外来 | 島田衣里子 | 非常勤 | 心臓外来 |
| 石田　　悠 | 非常勤 | 神経外来 | 松井　順子 | 非常勤 | 神経外来、小児科一般 |

## 診療内容・特色

◆一般外来（初診・再診）
月曜日から土曜日（第三土曜日除く）　午前中　受付時間 8：00 ～ 11：00

基本的には予約制ですが、小児の症状は急性なことが多いため、土曜日以外は予約外の方も当日受付で診療しております。当日に電話で予約することはできません。必ず時間内に来院し受付をしてください。
当日受付の方は、予約の方の間で（予約の方が優先となります）診察をしておりますが、緊急を要する場合、紹介の場合などは適宜優先しております。当日ご紹介の方は小児科外来に電話で連絡をお願いいたします。土曜日は完全予約制ですが、ご紹介の方は診察いたします。
また、受付時間を過ぎた紹介の場合、診察できかねる場合もありますので必ず小児科外来に電話で相談をお願いします。

一般外来では
発熱、咳、鼻汁、嘔吐、下痢などの感染症などのほか、入学前健診やアレルギーのご相談、発達や育児のご相談など小児科の範囲内であれば基本的には何でも対応させていただいております。
一般的な血液検査、X 線検査、各種感染症の迅速検査などは当日結果がわかります。発熱が遷延しているもの、肺炎などが疑われるものなど精査が必要であればご紹介ください。また、外来にて点滴による治療も行っていますので、脱水が心配される方もご紹介ください。

◆ 1 か月健診（予約制）　午後診療受付　月曜日～金曜日の午後

◆乳幼児健診（2 か月健診以降の方）（全予約制）　火曜日・水曜日・金曜日の午前

◆定期の乳児健診のほか、希望で健診が受けられます。（自費となります）
※ 6･7 か月と 9･10 か月健診は東京都在住の方のみ無料となります。乳児健康診査受診票を持参してください。
※ 1 歳 6 か月健診は、新宿区在住の方のみ無料となりますので、保健センターからの 1 歳 6 か月健康診査受診票を必ず持参してください。※同時に予防接種（ただし BCG を除く）を受けることができます。

◆予防接種
予防接種外来（予約制）　火曜日・水曜日・木曜日・金曜日の午前、金曜日の午後
午前中の一般外来（月曜日～土曜日）でも接種できます（ただし BCG を除く）。ただし、一般外来での予防接種の予約はできませんので、当日受付をしてください。BCG は木曜日午前の BCG 外来を予約してください。
基礎疾患のある方、アレルギーのある方の予防接種も行っていますのでご紹介ください。
※四種混合ワクチン、ヒブワクチン、三種混合ワクチン、麻しん単独ワクチン、A 型肝炎ワクチンをご希望の方は、在庫の確認のため事前に小児科外来までお電話ください。
※男子の子宮頸がんワクチン（小 6 ～高 1）は小児科で実施します。
※なお、中学生でも必ず保護者の方が同伴してください。

◆専門外来（予約制）
■神経外来（木曜日午前、第 3 木曜日午後、第 2 火曜日午前）　■アレルギー外来（火曜日・水曜日・金曜日の午後）　■心臓外来（月曜日午後）　■新生児フォローアップ外来（月曜日・水曜日の午後）
■夜尿症外来（火曜日午後）
※他の医療機関からの専門外来への紹介については小児科外来とご相談ください。

◆小児科の入院
当院では小児の入院治療ができます。ただし、夜間小児科医が不在のため重症者は受け入れておりません。
当院には小児病棟がないため、一般病棟に入院となります。
個室または二人部屋（別途、個室料金がかかります）をご希望し、家族の付き添いを希望される方に限り入院を受け入れております。詳細は外来担当医とご相談ください。

◆病的新生児の入院　診療実績（2024 年）:病児 344 例（早産児 33 例、低出生体重児 77 例、先天異常 13 例）
当院新生児室には 15 床の病児用の病床があります。しかしながら、新生児集中治療室（NICU）を有しておりません。したがって、原則として、単胎では妊娠 33 週 6 日、双胎では妊娠 34 週 6 日以前の早産のリスクが高い場合、新生児に専門性の高い治療を必要とする場合には、近隣の周産期センターと円滑に連携いたします。

◆産後ケア入院　診療実績（2024 年）：産後ケア 385 組（ショートステイ 324 組、デイケア 61 組）
産後 2 か月未満のお母さんと赤ちゃんの産後ケア入院を実施しています。他院で出産された方も利用できます。
新宿区・中野区・杉並区・豊島区・練馬区・板橋区・文京区の方は公費助成制度があります。

# 総合診療科

総合診療科 部長
**南郷　栄秀**

## 当科の紹介

「総合診療」はすべての領域にわたってありふれた病気の診療をするものです。総合診療科は、受診科が判り難い各種症状の診療や、複数の健康問題をお持ちの患者さんを総合的に診療します。どの診療科を受診すればよいか分からない場合は、まず当科をご紹介ください。そして、必要に応じて、病院内の各診療科や近隣の医療機関、福祉、行政等と緊密に連携を行いながらトータルケアを行います。

当科では、EBM（根拠に基づいた医療）を実践しています。最新の研究データ（エビデンス）を踏まえつつ、患者さんやご家族のお考えやご希望、当院の置かれている環境などを考慮して、患者さんにとって最善の医療を提供しています。また、総合診療科は臨床医を育成する場でもあります。

## 診療スタッフ 一覧

| 医師名 | 役職 | 専門領域／資格など<br>医師より一言 |
|---|---|---|
| 南郷　栄秀 | 総合診療科<br>部長 | 総合診療、EBM（根拠に基づいた医療）、医学教育／総合診療専門医、プライマリ・ケア認定医、総合内科専門医<br>ありふれた病気を中心に、多疾患併存や複雑な社会背景をもつ患者さんの診療を得意としています。若手医師の育成をしながら、エビデンスに基づいた質の高い診療を実践し、地域に根ざした医療を提供します。 |
| 田中　祥子 | 医　員 | 総合診療、家庭医療、在宅医療／総合診療専門医、家庭医療専門医、在宅医療専門医、認定内科医<br>体のことだけでなく、生活のことも含めて診療していきたいと考えています。困難なことも一緒に悩んで考えていきたいです。 |

## 診療内容・特色

現在、入院診療、外来診療、救急診療、訪問診療、健診を担当しています。

入院診療については、研修医や専攻医と指導医、そして各医療専門職がチームを組んで担当します。日々綿密に議論を重ねながら、診療方針を考え、患者・ご家族さまを交えて最終的な方向を決定してまいります。かかりつけ医の先生が診ていらっしゃる患者さまが調子を崩された場合の入院診療を、積極的に行っています。状態が安定したのちに、再びかかりつけ医の先生の診察に戻っていただけるようお手伝いいたします。また、ご家族様に介護困難が生じたり、何らかの事情で一時的に介護ができる方がいなくなってしまったりした場合も、ご相談ください。

設備に限界のある小病院ですので、特に重症患者の対応など、全てにおいてご希望に沿った対応ができないこともあるとは思いますが、まずはお気軽にご紹介ください。

総合診療科が特に得意としていることは以下のとおりです。

### ◆ありふれた病気の包括的なマネジメント

特に嚥下性肺炎、尿路感染症、心不全、脳卒中、糖尿病などの動脈硬化性疾患、COPD、気管支喘息、骨粗鬆症などのありふれた病気の総合的な管理はもちろん、こうした疾患の予防も当科の得意とするところです。

入院・外来にて上記のような多領域にわたる健康問題を多く診療しておりますが、専門的な検査や治療が必要と判断された場合や、重症な病気で高度な治療が必要になる場合には、連携する高次医療機関を紹介するシステムも準備しており、臨機応変な対応が可能です。

### ◆多疾患併存・ポリファーマシーの管理

多数の病気や健康問題を抱えていて複数診療科をまたいだ対応が必要な方の診療経験が豊富です。また、多剤併用で管理が困難になっている患者さまの薬剤整理なども得意としています。

### ◆複雑な社会背景がある症例の診療

高齢、独居、家族関係などが問題となる、社会背景が複雑な方にも対応いたします。在宅での療養が困難になってきた患者さまの環境調整や、施設入所の検討などにつきましても、当院には地域包括ケア病棟がありますので、医療ソーシャルワーカーと連携し、ご本人・ご家族さまの意向を反映させて、以降の療養について検討を行います。

### ◆リハビリテーション

リハビリセラピスト（理学療法:PT、言語聴覚士:ST）との連携を密にして、リハビリにあたっております。回復期リハビリテーション病棟に入る適応のない方でも、ご相談をいただけましたら、可能な範囲で対応させていただきます。

### ◆訪問診療

現在、通院が困難になった患者さまのご自宅や施設への訪問診療を行っております。定期的な訪問診療のみで、緊急往診には対応できておりませんが、必要な場合は救急車などでご来院いただき、救急外来で対応いたします。また訪問診療を行っている患者さまが調子を崩された場合の入院診療を、積極的に行っています。状態が安定したのちに、再びかかりつけ医の先生の訪問診療に戻っていただけるようお手伝いいたします。

また、ご家族さまに介護困難が生じたり、何らかの事情で一時的に介護できる方がいなくなってしまったりした場合も、ご紹介ください。

### ◆診療実績

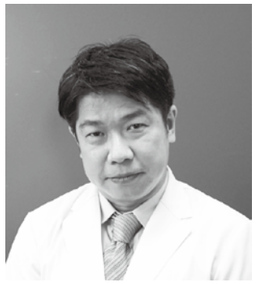
2024 年総合診療科入院患者実績（323 件）

| | |
|---|---|
| 肺炎・誤嚥性肺炎 | 106 件 |
| COVID-19 | 33 件 |
| 急性腸炎 | 28 件 |
| うっ血性心不全 | 27 件 |
| 急性腎盂腎炎・尿路感染症 | 26 件 |





# 緩和ケア



内科 副部長
**藤井　大輔**

## 当科の紹介

聖母病院での緩和ケアは、地域のみなさま、連携医療機関よりのご要望に応える形で、2020 年に緩和ケアチームが発足し、正式な活動を開始しました。開院当初から、長年ターミナルケアを担ってきたカトリック系病院として、穏やかな環境の中で専門性の高い緩和ケアを提供しています。周囲の総合病院に比べて小規模ではあるものの、スタッフの横のつながりは緊密です。多職種間で常に情報共有を行い、患者さま・ご家族さまのご意向をかなえる緩和ケアの提供に尽力しています。

当院の特徴として、緩和ケアをご希望の方の入院につきましては一般病棟で承っています。専門病棟の構えではありませんが、それぞれの患者さまの状態に応じて検査や治療なども適宜可能となっています。急性期病院ですので急な容態変化にも、的確で迅速な対応をとることが可能で、みなさまからの様々なご要望に、柔軟に対応できることを目指しています。

当院では、非常勤で籍を置く大学病院の緩和ケア専門医からも適宜アドバイスをいただき、治療中から終末期に至るまで最新で最良の緩和ケアを心がけております。

## 診療スタッフ 一覧

| 医師名 | 役職 | 専門領域／資格など<br>医師より一言 |
|---|---|---|
| 藤井　大輔 | 内科<br>副部長 | 総合内科、循環器、緩和ケア／総合内科専門医<br>従事してきた循環器内科、神経内科の診療歴を生かした総合内科の視点で緩和ケアを提供してまいります。学生時代に過ごした山岳部で鍛えた体力と、医師になる前に、サービス業・出版業に勤める中で培った「サービス精神と言葉選び」も活かし、当院での緩和ケアをご希望された方のお考えに寄り添った医療を心がけてまいります。 |

## 診療内容・特色

### ◆緩和ケアとは

患者さまとそのご家族の身体的・心理社会的な問題に、病名や病状を問わず早期から対応し、苦痛を和らげることで QOL の向上を目指す医療です。

### ◆当院の緩和ケアチームの特徴

- がん、非がんを問わず、患者さまとそのご家族のサポートを行っています。非がんでは、特に慢性心不全の管理を得意としています。
- 病棟、外来にて緩和ケアチームが介入させていただいており、必要に応じて適宜検査･治療も行っています。
- 死別後のご家族さまのグリーフケアにも尽力しております。
- 緩和ケアの提供を目的とした在宅療養中のサポートや、他施設からの転院受け入れも行い、地域における緩和ケアの推進を図っております。

### ◆主な緩和ケアチーム構成

医師／看護師／薬剤師／ MSW ／管理栄養士／医事課ほか、リンパ浮腫セラピスト、精神科医、理学療法士、歯科衛生士らも協働しております。

### ◆お問い合わせ

受付時間は平日の 9 時～ 16 時です。代表電話（03-3951-1111）にお電話をいただき、緩和ケアチーム専従看護師をお訪ねください。

不在の場合には MSW が対応させていただきます。

### ◆近年の活動状況

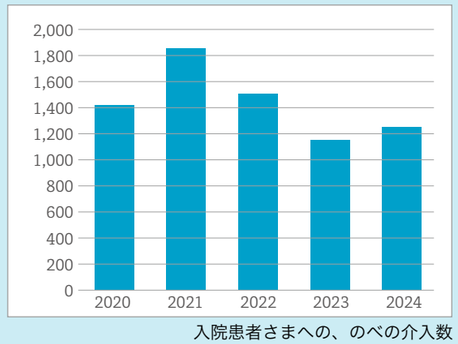
入院患者さまを対象としての介入数をグラフに示しました。

のべの患者さまの数ではございますが、毎年 1,500 名前後の方をチームで回診し、お困りごとなど尋ね、解決にあたっております。

こうした私どもの活動をご理解いただけてのことか、近隣の病院、診療所から多くのご紹介をいただけるようになったと感じております。

今後も、みなさまよりますますの信頼をお預かりできるよう、スタッフ一同、誠意をもって医療に取り組んでまいります。

### ◆診療実績




入院患者さまへの、のべの介入数

# 乳腺外科

## 当科の紹介

乳腺疾患診断に関する最新診断機器を揃え、1 名の常勤乳腺専門医と 3 名の非常勤乳腺外科医による診察・検査・治療を行っています。

## 診療スタッフ 一覧

| 医師名 | 役職 | 専門領域／資格など<br>医師より一言 |
|---|---|---|
| 菊山みずほ | 医　長 | 乳腺外科／日本乳癌学会乳腺専門医・指導医、日本外科学会外科専門医・指導医、検診マンモグラフィ読影認定医、がん治療認定医<br>乳腺領域の精密検査、乳腺良性疾患の経過観察、乳がんの診断と治療などを行っています。わかりやすい説明と最適な医療の提供を心掛けています。 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 加藤　昌弘 | 非常勤 | 乳腺外科 | 岩瀬　　哲 | 非常勤 | 緩和ケア |
| 神野　浩光 | 非常勤 | 乳腺外科、外科腫瘍学 | | | |

## 診療内容・特色

◆乳がんの診断・治療

デジタルマンモグラフィ（3D）、超音波（エラストグラフィ）、MRI、超音波ガイド下マンモトーム、針生検、細胞診を駆使し、乳腺疾患の診断、手術、薬物療法までの治療を責任もって診療します。放射線治療は近隣病院の放射線科と連携し、迅速な治療ができるように体制作りを行っています。2024 年の乳がん手術は 13 例行っています。

◆乳房温存術

乳房温存術は、病変を残さないように部分的に切除し、乳頭・乳輪と乳房の膨らみを残す手術で、術後の整容性の向上に努めています。さらに、術中の切除断端の迅速病理診断はもちろんのこと、必要十分で過不足ない病変の切除を行うための術式を考案し実施しています。

◆センチネルリンパ節生検術

乳がんが転移しやすい腋窩のリンパ節に対しては、まずセンチネルリンパ節生検を行います。当院のセンチネルリンパ節生検術は色素を使用し、術中迅速病理診断のもとで実施しています。センチネルリンパ節に転移が見られない場合は腋窩リンパ節の切除を省略するため、上肢の浮腫や腋窩の疼痛・違和感などの不快な症状が少なくなります。

◆乳房再建術

乳房温存手術ができない病変の場合、乳房再建を希望される方が増えています。当院は乳房再建実施病院（一次再建一期）に認定されており、早期乳がんの方が再建を希望された場合は乳房切除と同時にティッシュエキスパンダーを挿入しています。その後のインプラント挿入は日本有数の専門医であるブレストサージャリークリニックの岩平佳子先生のもとで行われます。

◆術前、術後の抗がん剤治療

術前、術後の抗がん剤治療は、ガイドラインによる標準治療を実践しています。抗がん剤治療は、薬剤の選択と同様、治療を継続していくことも非常に大切です。患者さんの年齢・体力やご希望にも十分に配慮して、安心して治療が継続できるよう、主治医と十分な話し合いのうえで治療方針を決定していきます。外来抗がん剤治療は、専用の注射室をご用意しています。余裕のある空間に、リクライニングシートや個別テレビを備えており、リラックスした雰囲気の中で治療を受けられます。

◆乳がん検診

乳がんは日本人女性の最もかかりやすいがんで、年々増加しています。それに伴い、30 歳代の若年者における乳がん発症も少しずつ増えています。自分でしこりに気付いた場合、半数以上（54.1%）の方のがんの大きさは 2cm を超えています。一方、症状のないときに検診で発見できれば 2/3（67.7%）のがんは 2cm 以下で、1cm 以下で見つかることも稀ではありません。小さなしこりで発見できれば、乳房を温存できる確率や治癒の可能性は高まります。乳がんを予防することは難しいので、検診で早期のうちにがんを発見するのが理想です。乳がんの発見にはマンモグラフィ、超音波検査が有効です。乳腺組織が多い方はマンモグラフィでのがんの検出率が下がると報告されています。乳腺は加齢とともに脂肪に置き換わっていきますので、乳腺の多い若い世代はしこりの発見に優れた超音波検査を中心に検査を行っています。また乳がんリスクの高い方には両方の検査を受けることをお勧めしています。

◆良性腫瘍の経過観察・手術

大学病院やがん専門病院ではフォローが難しい良性腫瘍の経過観察も行っています。手術は、全身麻酔・局所麻酔どちらでも対応できるようにしています。

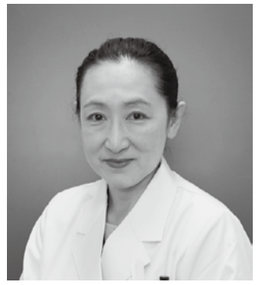
◆リンパ浮腫外来

当院ではリンパ管機能検査は実施できませんが、上肢・下肢のリンパ浮腫の検査・治療を行っています。





# 皮　膚　科



皮膚科 部長
小林　里実

## 当科の紹介

皮膚の病気全般の治療を行うほか、アトピー性皮膚炎、乾癬、掌蹠膿疱症、水疱症、小児のあざや生まれつきの病気、ウイルス性のイボ、脱毛症などでは専門的な治療を行っています。これまでの治療で苦慮されている患者さん、治療で迷われている患者さんがいらっしゃいましたら、是非一度ご相談ください。

特に、乾癬や掌蹠膿疱症は関節や骨の症状を伴うことがあり、正しい診断が適切な治療に繋がります。小児のあざでは、全身麻酔をしないレーザー治療を行っています。ほくろやにきび、しみなどの整容的な悩みには自由診療でレーザーや IPL、ピーリングを取り入れています。生まれて間もない赤ちゃんから小児、成人、お年寄りまで、幅広い年齢層の患者さんが安心して受診できる皮膚科でありたいと願っています。

## 診療スタッフ 一覧

| 医師名 | 役職 | 専門領域／資格など<br>医師より一言 |
|---|---|---|
| 小林　里実 | 皮膚科<br>部長 | 皮膚科一般、乾癬・掌蹠膿疱症・アトピー性皮膚炎、手術／日本皮膚科学会認定専門医、代議員・皮膚疾患ケア看護師制度医員、日本皮膚科学会東京支部学校保健委員、日本小児皮膚科学会運営委員、日本皮膚免疫アレルギー学会代議員、エビペン登録医<br>皮膚科全般に加え、乾癬、掌蹠膿疱症では皮膚と骨関節症状の両者の診断と治療を専門とし、基本的治療から生物学的製剤、低分子阻害薬、顆粒球吸着療法まで幅広く実施しています。蕁麻疹やアトピー性皮膚炎、小児患者さんに対する内服治療や生物学的製剤の連携も行っています。小児レーザー治療、美容診療なども、どうぞご紹介ください。 |
| 平山愛里紗 | 医　員 | 皮膚科一般、手術、光線外来／東京慈恵会医科大学皮膚科学教室より出向、エビペン登録医<br>あたたかく丁寧な診療を心がけています。大学では、希少疾患であるレックリングハウゼン病（神経線維腫症）の専門外来を担当しています。 |
| 西牟田真由 | 医　員 | 皮膚科一般、光線外来／東京女子医科大学皮膚科学教室より出向<br>患者さんの苦痛や不安に寄り添える診療を心がけています。 |
| 川上　理子 | 非常勤 | 皮膚科一般、小児皮膚科／日本皮膚科学会認定専門医、日本皮膚科学会東京支部名誉会員<br>小児皮膚科を専門とし、小児のあざ、小児特有の疾患を拝見しております。あざの治療は治療開始時期が重要です。生後一か月検診を目途に早期にご紹介ください。 |

| | | |
|---|---|---|
| 西山有希子 | 木・金 | 皮膚科一般、アトピー性皮膚炎／日本皮膚科学会認定専門医 |
| 矢作　美奈 | 水 | 皮膚科一般／日本皮膚科学会認定専門医 |
| 石原　陽子 | 月 | SAPHO 症候群、骨粗鬆症／日本整形外科学会認定専門医・スポーツ医ほか |

## 診療内容・特色

◆一般外来　　午前診療受付　8：00 ～ 11：00

◆専門外来の予約について

○小林外来は、一般外来も原則予約制とさせていただいております。予約が取りにくい場合は直接ご相談ください。ご紹介患者さんは当日受付でも拝見しており、その際は、看護師よりおおよその診療時間をお伝えしております。

○掌蹠膿疱症では、効率化を図るため、予約初診にて他の医師が症状の把握と必要な血液・画像検査を行うとともに基本的な治療を開始し、次の小林外来予約をお取りします。ただし、掌蹠膿疱症と掌蹠膿疱症性骨関節炎、乾癬、アトピー性皮膚炎などで日常生活が送れないような重症の方は、直接、小林初診予約をお取りする場合がございます。皮膚科外来に直接お問い合わせください。

○光線外来では、NB-UVB の全身型照射用のほか、部分照射用のエキシマライト・TARNAB による紫外線療法を行っています。PUVA も可能です。また、帯状疱疹後神経痛に対する赤外線照射を行っており、必要に応じて麻酔科のペインクリニックと連携します。

○小児レーザー　赤あざ、青あざの保険診療を中心に行っています。生後 1 カ月の早期よりご相談ください。

※小児レーザーの初診、掌蹠膿疱症・乾癬の初診は、皮膚科外来にてお電話で看護師が症状を伺い、予約をお取りしています。その他重症の場合も皮膚科外来にお問合せください。

専門外来（予約制）

乾癬外来・掌蹠膿疱症外来：火曜日／水曜日／第 2 、4 金曜日　午前・午後（小林）
整形外科医による掌蹠膿疱症性骨関節炎外来：月曜日　午後（石原）
光線・学童外来：水曜日　午後（矢作、西牟田）／金曜日　午後（平山）
手術外来：木曜日　午後
特殊治療外来（顆粒球吸着療法ほか）：木曜日　午前（小林）
小児レーザー外来：月曜日・水曜日　午前・午後（川上）／火曜日　午後（小林）
ピーリング外来：火曜日　午後（平山、西牟田）

◆診療実績（2024 年）

| | |
|---|---|
| 手術（単純） | 120 件 |
| Q ｽｲｯﾁ Alex ﾚｰｻﾞｰ | 260 件 |
| 悪性腫瘍切除術 | 23 件 |
| 色素レーザー | 222 件 |
| 植皮 / 皮弁術 | 5 件 |
| IPL | 206 件 |
| 炭酸ガスレーザー | 161 件 |
| 掌蹠膿疱症新患 | 114 例 |

# 整形外科

## 当科の紹介

整形外科は、運動器の病気やケガを治療し健康を守る専門家です。運動器とは、骨、関節、靭帯、筋肉、脊椎脊髄、手足の神経・血管などをひとまとめにした呼び方です。手、足や背骨などの身体に痛みがある場合や、ケガをした時には、早い機会に、整形外科を受診して正しい診察と治療を受けることをお勧めします。運動器の健康を維持し、元気で幸せな生活を送れるよう、お手伝いさせていただきます。

2020 年 4 月より常勤医師 2 名となりましたので、積極的に手術ができる体制となりました。骨折手術の他、人工膝関節・人工股関節手術も行っております。 外来で内服治療、外用治療、関節内注射、装具治療、筋トレを含むリハビリテーションなどでも症状の改善がみられない患者様に対して、人工関節手術を行っております。当院では術後早期リハビリは行っておりますが、早期退院ではなく、ご高齢の方でも無理なくこれまでの日常生活につなげられるように、患者さんに寄り添った理学療法士による余裕を持ったリハビリプランで、安心して退院していただけるように心がけております。また、専門分野（足の外科、手の外科、脊椎外科）をもつ非常勤医師を外来に迎え、多岐にわたる整形外科分野に対応できるようにしております。

また、専門分野を持つ非常勤医師を外来に迎え、多岐にわたる整形外科分野に対応できるようにしております。

骨粗鬆症に対して、骨密度検査（DXA）の導入をしております。

また、当科として、帝京大学医学部附属病院、東京女子医科大学病院、国際医療福祉大学三田病院との連携を保ちつつ、診療をすすめております。

## 診療スタッフ 一覧

| 医師名 | 役職 | 専門領域／資格など<br>医師より一言 |
|---|---|---|
| 小川　政明 | 整形外科<br>部長 | **整形外科**／日本整形外科学会認定整形外科専門医、日本スポーツ協会公認スポーツドクター、身体障害者福祉法指定医（肢体不自由）、日本スポーツ協会公認体力テスト判定員、日本医師会認定健康スポーツ医、日本整形外科学会臨床研修指導者、日本整形外科学会小児運動器疾患指導管理医師<br>これまでの経験を生かし、患者さんに寄り添い最適な治療をしてまいりたいと思っております。皆様よろしくお願いいたします。 |
| 小林　亜里 | 医　長 | **整形外科**／日本整形外科学会認定整形外科専門医 |
| 土岐　尋江 | 非常勤 | 日本整形外科学会認定整形外科専門医、日本整形外科学会認定専門医：リウマチ医、スポーツ医、日本リウマチ学会リウマチ専門医 |
| 橋本　健史 | 非常勤 | 日本整形外科学会認定整形外科専門医、日本整形外科学会認定専門医：スポーツ医、リウマチ医、脊椎脊髄病医、運動器リハビリテーション医、日本スポーツ協会公認スポーツドクター、医学博士。慶應義塾大学スポーツ医学研修センター教授・所長、慶應義塾大学大学院教授、慶應義塾大学医学部兼坦教授、慶應義塾評議員、日本足の外科学会副理事長、日本臨床スポーツ医学会代議員 |
| 三箇島吉統 | 非常勤 | 日本整形外科学会認定整形外科専門医、日本整形外科学会認定専門医：リウマチ医、スポーツ医、日本スポーツ協会公認スポーツドクター、医学博士 |
| 村越　　薫 | 非常勤 | 日本整形外科学会認定整形外科専門医、日本整形外科学会認定専門医：リウマチ医、日本スポーツ協会公認スポーツドクター |

## 診療内容・特色

◆対象疾患

運動器を構成する組織や病気やケガを扱います。

外傷（ケガ）：切創、打撲、捻挫、脱臼、骨折、スポーツ障害

◆病気

加齢に伴う変形性骨関節疾患（変形性膝関節症、変形性股関節症、五十肩、変形性頸椎症、変形性腰椎症など）、骨粗鬆症、関節リウマチ、痛風、発育性股関節脱臼など

◆手術実績（2024 年 1 月 -12 月）総計 237 件

| | | | |
|---|---|---|---|
| 骨折観血的手術 | 33 件 | 骨内異物除去術 | 108 件 |
| 人工関節・人工骨頭 | 17 件 | 関節脱臼整復術 | 16 件 |
| 手根管症候群 | 2 件 | 腱鞘切開術 | 7 件 |
| 皮膚切開術 | 10 件 | | など |

◆検査実績（2024 年 1 月 -12 月）

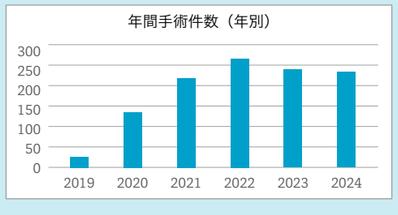
骨密度検査（DXA）2024 年度　824 件（うち、整形外科 582 件）

◆治療

薬や注射による治療

手術療法：必要に応じて骨折の固定術や人工関節の手術、関節鏡による手術を行います。

理学療法：物理療法（温熱、牽引など）、運動療法








# 耳鼻咽喉科

耳鼻咽喉科 部長
中川　秀樹

## 当科の紹介

午前中は一般外来、午後は音声・嚥下・言語の専門外来の形で診療しております。

耳鼻咽喉科良性疾患手術全般、入院、通院加療の必要な疾患を幅広く診療しております。クリニックの先生方からの、検査・入院・手術を目的としてご紹介いただく患者様の診療に重点を置いています。

先生方からの紹介状をお持ちの患者様は、外来診療予約が無くても優先的に拝見いたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。

## 診療スタッフ 一覧

| 医師名 | 役職 | 専門領域／資格など<br>医師より一言 |
|---|---|---|
| 中川　秀樹 | 耳鼻咽喉科<br>部長 | **喉頭・音声疾患**／日本耳鼻咽喉科学会認定専門医・指導医、日本気管食道科学会認定専門医・評議員、日本音声言語医学会認定音声言語認定医・評議員・会報編集委員、日本嚥下医学会認定嚥下相談医、難病指定医、身体障害者指定医、補聴器相談医、慶應義塾大学医学部客員講師、杏林大学医学部非常勤講師 |
| 齊藤　秀行 | 非常勤<br>第 2 水曜日<br>午前 | **耳科疾患**／斉藤耳鼻咽喉科医院院長<br>日本耳鼻咽喉科学会認定専門医、補聴器適合判定医、補聴器相談医、日本耳鼻咽喉科学会代議員など |
| 齋藤康一郎 | 非常勤<br>木曜日<br>午前 | **喉頭・音声疾患**／杏林大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室主任教授<br>日本耳鼻咽喉科学会認定専門医・指導医、日本気管食道科学会認定専門医<br>日本耳鼻咽喉科学会代議員、日本気管食道科学会常任理事、日本喉頭科学会理事など |
| 大石　直樹 | 非常勤<br>月曜日<br>午前 | **耳科疾患**／慶應義塾大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室准教授、慶應義塾大学病院聴覚センター長、日本耳鼻咽喉科学会認定専門医・指導医、補聴器適合判定医、補聴器相談医、日本耳科学会代議員など |
| 横井　秀格 | 非常勤<br>水曜日<br>午前 | **鼻疾患**／杏林大学医学部付属杉並病院耳鼻咽喉科臨床教授<br>日本耳鼻咽喉科学会認定専門医・指導医、日本アレルギー学会専門医・指導医、日本鼻科学会代議員、日本頭蓋底外科学会評議員など |

## 診療内容・特色

地域の患者様はもちろん、近隣遠方問わず多くのクリニックの先生方との紹介・逆紹介連携を重視しています。

常勤医の他にも、各医療施設で診療、研究の中核を担っているベテランの医師が非常勤として外来を担当しています。

◆当科の特徴

音声言語疾患の診療：常勤の中川医師は慶應義塾大学音声研究班の出身で、国際医療福祉大学東京ボイスセンターや杏林大学喉頭音声外来の立ち上げにも参加しました。喉頭ストロボスコープ、マイクロフランス社製喉頭手術器械などを揃え、経験豊富な音声言語聴覚士とともに専門的診療にあたります。

小児の機能性構音障害や吃音に対しての指導や訓練も行っております。

急性疾患の入院治療：急性扁桃炎、ウイルス性咽頭喉頭炎、扁桃周囲膿瘍、突発性難聴、顔面神経麻痺、ハント症候群などの入院治療を積極的に行っています。特に単純ヘルペスウイルス初感染による重篤な咽頭喉頭炎の症例数は国内でも有数です。

嚥下障害の診療：専任の言語聴覚士とともに当院の摂食嚥下支援チームを担っています。入院患者様の診療が主ですが、外来での嚥下検査、指導も行っています。急性期治療を終えられた嚥下障害の患者様や、在宅の嚥下障害の患者様について、外来、入院での摂食嚥下リハビリテーションを受け入れています。

◆診療実績（2024 年 1 月 -12 月）

| | |
|---|---|
| 喉頭マイクロ手術（声帯ポリープ摘出術） | 12 件 |
| 内視鏡下鼻副鼻腔手術・鼻中隔矯正術等 | 24 件 |
| 口蓋扁桃摘出術 | 40 件 |
| 鼓膜換気チューブ挿入術 | 21 件 |
| 喉頭ストロボスコピー検査 | 329 件 |
| 嚥下内視鏡検査 | 73 件 |

# 眼　　科

## 当科の紹介

常勤医師１名、非常勤医師と視能訓練士４名（常勤・非常勤）により、午前中は一般外来診察を、午後は特殊検査・手術・処置を行っております。

手術は主に白内障手術・硝子体内注射等を行っております。 手術は日帰り・入院どちらにも対応しております。入院の場合は１泊２日になります。

外来処置では主に後発白内障レーザー・網膜光凝固（網膜レーザー）・虹彩光凝固・ものもらい切開・涙点プラグ挿入（キープティア ®）・ボトックス注射等を行っております。当院はできるだけ迅速に検査、診断を行うとともに、わかりやすく丁寧な病状や治療方針の説明を心がけております。

お子様からお年寄まで地域の皆様に信頼される医療を提供するよう努めております。

## 診療スタッフ 一覧

| 医師名 | 役職 | 専門領域／資格など<br>医師より一言 |
|---|---|---|
| 戸ケ崎英理奈 | 医　員 | 一般眼科<br>大学病院で培った経験を活かして、地域の患者様に寄り添った医療を提供できるよう努めてまいります。 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 落合　淳一 | 非常勤 | 一般眼科 | 河井　明佳 | 非常勤 | 一般眼科 |
| 太根　ゆさ | 非常勤 | 一般眼科 | 海田　千恵 | 非常勤 | 一般眼科 |

## 診療内容・特色

◆メガネ

月曜 AM、木曜 AM に 9：00、9：30、10：00 の 3 枠ずつ設けております。原則予約制です。

◆コンタクト

現在、コンタクトは扱っておりません。

◆専門外来

月曜 PM、木曜 PM に完全予約制です。術前検査、手術申し込み、視野検査、その他外来処置などを行っています。

◆手術

火曜日 PM（主に白内障以外）、水曜日 PM（白内障）当院での手術はどれも局所麻酔で行います。

◆白内障

水晶体という部分が加齢に伴って白色に濁るために視力低下を引き起こすものです。手術時期に正確な決まりはなく緊急性もないことがほとんどですが、生活や仕事に支障をきたすようになってきたら手術適応です。

手術当日、入院の方は 8：30、日帰りの方は 10：00（白内障）か 11：00（白内障以外）にご来院いただき、手術前に目の最終チェックをします。入院の方は翌日昼前に退院となります。糖尿病や脳・心臓・腎臓などのご病気をお持ちの患者様は当院で手術を申し込む前に、あらかじめかかりつけの先生へ手術を受けても大丈夫かどうかをお尋ねになっておかれるとスムーズに手術予定日を決められます。

その他、硝子体手術など当院で対処できない疾患についても、診察は可能ですのでわからないことがあればお気軽にお尋ねください。必要時は適切な専門病院をご紹介させていただきます。

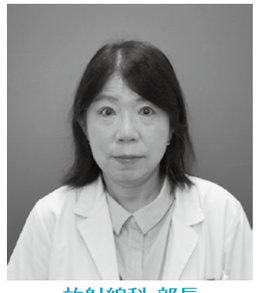
◆診療実績　2024 年

| | |
|---|---|
| 白内障手術 | 73 件 |
| 硝子体注射 | 25 件 |
| 霰粒腫切開術 | 3 件 |





# 放射線科・画像検査科



放射線科 部長
戸邉　公子

## 当科の紹介

放射線科では、画像診断を担当しています。各種の単純Ｘ線撮影、乳房撮影（マンモグラフィ）、超音波検査（US）、CT、MRI などの読影および報告書作成を行っています。CT に関しては当日ご依頼、当日午後実施も施行しております。

放射線科診断専門資格を有する常勤医２名と非常勤医３名が勤務し、適切な画像検査施行、依頼医への迅速な情報提供に尽力しております。

## 診療スタッフ 一覧

| 医師名 | 役職 | 専門領域／資格など<br>医師より一言 |
|---|---|---|
| 戸邉　公子 | 放射線科部長 | 放射線科専門医（診断）／検診マンモグラフィ読影認定医<br>CT や MRI、一般レントゲン撮影やマンモグラフィ、透視撮影などの読影、診断レポート作成を実施するとともに、放射線安全管理も行っております。 |
| 八尾　由紀 | 医　長 | 放射線科専門医（診断）／検診マンモグラフィ読影認定医<br>CT や MRI、一般レントゲン撮影やマンモグラフィ、透視撮影などの読影、診断レポート作成をしております。<br>正確な診断を主治医に伝え、診療に役立つように努力しております。 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 渡辺　祐亮 | 非常勤 | CT、MRI<br>放射線科専門医（診断） | 山口　晴臣 | 非常勤 | CT、MRI<br>放射線科専門医（診断） |
| 越野　沙織 | 非常勤 | CT、MRI　放射線科専門医<br>検診マンモグラフィ読影認定医 | | | |

## 診療内容・特色

◆地域の病院・医院・クリニックとの連携

当院画像検査科では、院内の検査だけではなく、院外からのご依頼による検査も行っています。

各種の単純 X 線撮影、乳房撮影（マンモグラフィ）、骨密度測定、超音波検査（US）、CT、MRI などの撮影を行っています。

診療放射線技師 10 名、超音波技師２名にて業務を行い、マンモグラフィ撮影は必ず女性技師が施行する体制を整えています。

検査後には当院放射線科専門医により診療情報提供書が作成され、ファックスは原則当日、郵送にて２日以内にご依頼元の医療機関へ結果が届けられます。

◆検査のご予約について

お電話にてご予約をお願いいたします（画像検査科直通番号 03-3951-1114）。ご希望の検査名、日時、患者様のお名前をお伝えください。聖母病院画像検査科ホームページより、患者様へのご案内 “CT･MRI 検査を受けられる方へ ” をダウンロードできますので、よろしければご活用ください。

当科では、患者様からの直接のご予約はお受けしておりません。ご予約の変更、キャンセルをご希望の場合には、事前に画像検査科までご連絡をお願いいたします。

（CT、MRI 造影検査については、事前に腎機能、気管支喘息などのアレルギー既往をご確認のうえでご予約ください。）

◆画像データおよび読影レポート

検査施行後、画像データをフィルムもしくは CD にて、患者様にお渡しいたします。

ご予約時に画像データの種類およびレポート送付方法をご指定ください。

◆当院画像診断装置

- MRI 装置（3.0T）
  SIMENS Healthcare 社製 MAGNETOM Vida3.0T
- X 線 TV 装置（骨密度測定等）
  島津製作所　SONIALVISION G4 GE
- 超音波診断装置
  富士フィルムヘルスケア社製 HI VISION Avius
- CT 装置（64 列）
  GE ヘルスケア製 RevolutionGSI
- マンモグラフィ装置（3D）
  GE ヘルスケア社製 Senographe Pristina
- 一般撮影装置

◆ 2024 年（2024 年 1 月～ 2024 年 12 月）の撮影実績

| | |
|---|---|
| CT 撮影 | 5,658 件 |
| MRI 撮影 | 3,006 件 |
| マンモグラフィ撮影 | 3,403 件 |

# 麻　酔　科

## 当科の紹介

麻酔科は常勤医４名で、手術麻酔管理（手術前診察や手術時の麻酔および術後の疼痛管理）、ペインクリニック外来（痛みの治療）、無痛分娩（硬膜外カテーテル挿入やカテーテルの管理）に関与しております。

※ペインクリニック外来は予約制となっており、月曜日から金曜日の午前中のみ行っております。緊急手術、無痛分娩への対応等もありお待ちいただかなくてはならない場合もございます。（入院中の患者様の診察はこの限りではありません）

手術室看護師と共に患者様の安寧を保全することに努めてまいります。手術に関する麻酔や無痛分娩、痛みについてお気軽にお問合せください。

## 診療スタッフ 一覧

| 医師名 | 役職 | 専門領域／資格など<br>医師より一言 |
|---|---|---|
| 松本　　都 | 医　長 | 麻酔全般、ペインクリニック／麻酔科標榜医、日本専門医機構認定麻酔科専門医・日本麻酔科学会指導医、日本ペインクリニック学会専門医<br>病院に即した医療を行っていけるよう頑張ります。 |
| 一石　典子 | | 麻酔全般、ペインクリニック／麻酔科標榜医、日本専門医機構認定麻酔科専門医・日本麻酔科学会指導医、日本ペインクリニック学会専門医<br>手術中の麻酔や硬膜外和痛分娩、ペインクリニック外来での痛みの治療を行っています。手術に関しては全身状態や禁煙、絶飲食など術前の状態の把握や術後鎮痛など周術期全般の管理に取り組んでいます。 |
| 鈴木　祥子 | 医　長 | 麻酔全般、ペインクリニック／麻酔科標榜医、日本専門医機構認定麻酔科専門医・日本麻酔科学会指導医<br>安心安全な麻酔を目指して頑張ります。 |
| 金子　里維 | 医　員 | 麻酔科／麻酔科学会専門医、認定医、JB-POT<br>患者様の苦痛や不安に寄り添えるよう努力します。麻酔に関してご不安なことがあればお声がけください。 |

## 診療内容・特色

◆手術の麻酔　手術の麻酔には全身麻酔、硬膜外麻酔、脊椎麻酔、静脈麻酔があります。患者様にはそれぞれの麻酔の内容とリスクをご説明し最適な麻酔方法を選択してまいります。2024 年の麻酔科管理症例は 740 件、うち全身麻酔症例 490 件です。

◆ペインクリニック　ペインクリニックでは帯状疱疹後神経痛や腰痛などに対する痛みの治療を行います。投薬治療、レーザー治療、ブロック注射など行っております。

◆無痛分娩　無痛分娩では主に硬膜外麻酔を使用し痛みの軽減を図ります。計画無痛分娩、オンデマンド無痛分娩共に対応しており、365 日 24 時間対応を行っております。2024 年の無痛分娩件数は 617 件です。

# 精　神　科

## 当科の紹介

「精神科」はストレス・不眠・不安・うつ・不定愁訴・もの忘れなどを診療します。
総合病院の精神科として、身体の病気をお持ちの方やご高齢の方にも多くご利用いただいています。

## 診療スタッフ 一覧

| 医師名 | 役職 | 専門領域／資格など<br>医師より一言 |
|---|---|---|
| 永冨めぐみ | 精神科<br>部長 | 精神科臨床一般／日本精神神経学会専門医・指導医<br>日本精神神経学会認知症診療医　精神保健指定医・判定医<br>くつろいだ雰囲気の中でお話をゆっくりうかがえるよう心掛けています。 |

## 診療内容・特色

初診は充分なご相談をするため予約制とさせていただいております。精神科外来までお電話ください。治療は薬物療法やカウンセリングを含むオーソドックスなものです。入院病棟・デイケア等はありませんので、病状に応じて適切な医療機関をご紹介することもあります。カウンセリングは５回程度の短期を原則とし適宜公認心理師が対応いたします。

◆診療実績　2024 年実施

MMSE（ミニメンタルステート検査）　402 件　　HDS-R（改訂長谷川式簡易知能検査）　402 件





# 泌尿器科

## 当科の紹介

泌尿器科は腎臓・尿管・膀胱・尿道などの尿路、前立腺・精巣・陰茎などの男性生殖器、副腎などの後腹膜臓器などに生じた疾患を扱っています。高齢化社会に伴い排尿困難・尿失禁などの排尿障害は年々増加しており、専門的な医療技術が求められている領域です。当院では慶応大学泌尿器科医局およびその関連施設から１名の非常勤医を招聘し診療を行っています。

## 診療スタッフ 一覧

| 医師名 | 役職 | 専門領域／資格など<br>医師より一言 |
|---|---|---|
| 勝井　政博 | 非常勤 | 泌尿器臨床一般、泌尿器悪性腫瘍／日本泌尿器科学会専門医、指導医、泌尿器腹腔鏡技術認定医、泌尿器ロボット支援手術プロクター認定医（膀胱 前立腺 副腎 腎（尿管））<br>丁寧な説明、迅速な診断を心掛けています。<br>受診された患者様の不安をとり除けるよう努めてまいります。 |

## 診療内容・特色

泌尿器科では悪性腫瘍（癌など）、尿路結石、排尿障害、尿路感染症など多岐にわたる疾患を扱い、治療としては外科治療から内科的治療まで各種の治療があります。 当院では手術の必要な患者様は慶応大学病院およびその関連施設である済生会中央病院などで治療を受けていただくようにしています。

# 病理診断科

## 当科の紹介

検査のため採取された組織の一部や手術で摘除された病変部の組織等からプレパラート標本を作製し、それを病理専門医が顕微鏡で観察し、病変の種類や性質などについて記載した「病理診断報告書」を作成し臨床担当医に提供しています。病理診断は、現在の医療においては特に「がん」等腫瘍性病変では最終診断と位置付けられており、患者さんに最適の治療選択がなされるよう当院の診療を裏で支えています。

## 診療スタッフ 一覧

| 医師名 | 役職 | 専門分野など |
|---|---|---|
| 遠藤　泰彦 | 非常勤 | 病理診断 |
| 福嶋　敬宜 | 非常勤 | 病理診断 |
| 坂谷　貴司 | 非常勤 | 病理診断 |
| 柴原　純二 | 非常勤 | 病理診断 |

## 診療内容・特色

◆病理診断科で取り扱う主な検体について

消化管内視鏡生検検体／消化管内視鏡下粘膜切除検体／消化管内視鏡下ポリープ切除検体／肝臓針生検検体／乳腺針生検検体／乳腺マンモトーム生検検体／皮膚生検検体／外科切除検体（胃・大腸・虫垂・胆のう・乳腺・子宮・卵巣・皮膚　等）／手術中迅速病理検体／尿、痰、胸水、腹水、乳腺穿刺液、乳汁、子宮等から採取した細胞検体

◆病理診断科で用いる特殊検査について

病理診断では、ヘマトキシリン・エオジン（HE）染色標本を基本としていますが、より正確な診断を行うために必要に応じて特殊な染色法を追加しています。

組織化学染色（特染）：組織中の様々な組織構築や含有物質等を染め出すことができます。

免疫組織化学染色（免染）：各種タンパク質を染め分けることができます。特に乳がんの治療法選択においては、この染色法を用いてホルモンレセプターや治療標的タンパク質の有無を知ることが、適切で副作用の少ない治療の選択に欠かせなくなっています。

◆手術中の迅速病理診断

外科切除の最中に、リンパ節にがんの転移がないか、切除の端にがんは見られないかなどの病理診断を行います。この術中迅速病理診断を行うか否かで外科手術の精度に影響を及ぼしますが、このような手術の最中に病理診断が行える施設は限られているのが現状です。

# リハビリテーション科

## 当科の紹介

主な役割は理学療法士による運動療法・物理療法を通して、入院外来ともに、鎮痛、循環促進、障害の防止と矯正、筋力、可動性、協調性等の改善を図り、患者様の社会復帰に協力しています。また言語聴覚士による言語機能・摂食嚥下機能改善や歯科衛生士による口腔ケアにも取り組んでおります。ただし、言語聴覚士・歯科衛生士は主に入院患者様を対象としております。

◆リハビリテーション科診療体制

理学療法士９名／言語聴覚士２名／歯科衛生士１名／リハビリ助手１名

◆診療時間（外来：理学療法）

月曜日～木曜日 9：00 ～ 14：00（最終受付）
金曜日・土曜日 9：00 ～ 11：00（最終受付）
※予約制となっております。
※当院での外来リハビリを希望される方がいらっしゃる場合は、紹介状を作成頂き、当院各科外来医師を受診されるようお伝えください。
※リハビリ目的の入院は、転院の方を受け付けております。

◆リハビリテーションの対象疾患

整形外科（骨折等）疾患、中枢神経（脳梗塞等）疾患、内科（肺炎等）疾患、外科（手術後等）疾患が主なものです。

2024 年の実績は、外来リハビリ：整形外科疾患 99％、入院リハビリ：整形外科疾患 60％、内科疾患（中枢神経含む）30％、外科疾患 10％です。

◆理学療法には以下のようなものがあります。

運動療法：関節可動域練習／筋力強化練習／姿勢矯正やバランス練習／起居動作練習／歩行練習等
物理療法　温熱療法：ホットパック・マイクロウェーブ　等
牽引療法：頸椎牽引・腰椎牽引　等

◆言語聴覚療法には以下のようなものがあります。

言語療法：構音訓練・発声訓練・口腔器官の運動等
摂食機能療法：食事指導・嚥下訓練

◆歯科衛生士によるもの

主に口腔内の観察、評価・口腔ケア

◆チーム医療への関わり

診療科・病棟との定期的なカンファレンス、緩和ケア、摂食嚥下支援などチーム医療へも積極的に参加しています。